



この一瞬に価値がある

バルトロメイ家と

ウィーン・フィルの120年

フランツ・バルトロメイ = 著 坂本謙太郎 = 監訳 坂本明美 = 訳



ウィーン・フィル元首席チェロ奏者によるウィーン・フィル三代記。120年にわたるウィーン・フィル、ウィーン国立歌劇場との関係から、ヨーロッパの音楽史やオーケストラ文化、彼らの育んできたウィーンの響きの謎が語られる——



本書のタイトル

「この一瞬に価値がある」は、先日惜しまれつつ亡くなった世界的指揮者

アーノンクールから頂いた言葉です。

アーノンクールへの尊敬の念と“芸術こそが時代の一瞬を切り取り永遠のものとする”というバルトロメイの思いが込められています。

(担当編集者より)

◆ フランツ・バルトロメイ Franz Bartolomey

1946年ウィーン生まれのチェロ奏者。2012年まで45年間にわたってウィーン・フィルハーモニー管弦楽団／ウィーン国立歌劇場に所属し、うち39年間は首席チェロ奏者を務めた。祖父(首席クラリネット奏者)、父(ヴァイオリン奏者・副楽団長)に次ぐ三代目のウィーン・フィル奏者。室内楽奏者としてもウィーン・ムジークフェライン四重奏団、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンで活躍。またソリストとしてバーンスタイン、ヤンソンス、ラトルなど多くの巨匠と共演。特にプレヴィン指揮のウィーン・フィルと録音した『ドン・キホーテ(リヒャルト・シュトラウス)』は名盤として知られる。来日は1973年以来50回以上。ウィーン・フィル、オペラ、カルテットの団員として、またPMFの講師や公開セミナー、ソリストとしても来日。日本でのファンも非常に多いウィーン・フィルの“顔”的存在。

※ご注文はお近くの書店・楽器店へお願いいたします。

キリトリ線

貴店名	注文数	年 月 日	音楽之友社刊
	冊	この一瞬に価値がある バルトロメイ家とウィーン・フィルの120年 フランツ・バルトロメイ = 著 坂本謙太郎 = 監訳 坂本明美 = 訳 四六判・224頁 定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-276-21701-0	
	ご住所 〒		
	お名前	お電話番号	

※記入された個人情報に関して、無断で第三者に開示することはありません。

お申し込み:FAX 03-3235-2148

(株)音楽之友社/営業部 TEL 03-3235-2151